

第5回 (8/6号)

水稻病虫害発生予察の結果について

<注意！>

夏ウンカの発生が増えています。共同防除を行わない圃場では、自身の圃場を確認し、薬剤散布の検討を！

※坪枯れを引き起こすのは「秋ウンカ」です。

① 生育状況

生育状況は、概ね平年並みか少し早い傾向にあります。全ての地区で幼穂形成は確認でき、山間地の田原野地区、浮橋地区では糊熟期～登熟期（粃が固まってきている時期）になっていました。

② 病虫害状況

先週と比較してもウンカ類の発生量が増えており、地区によっては防除水準となる発生量となっております。多くは夏ウンカ（セジロウンカ）やヒメトビウンカで、共同防除による消毒を行わない圃場では、薬剤散布を検討して下さい。

今回の予察では、山間地のカメムシの発生は確認できませんでした。今後、出穂を迎える地区では畦畔雑草の除草は、10日前までには行い畦畔からの水田への飛び込みを防ぎましょう。

穂肥

○NK化成を施用する場合 3,120円/1袋(20kg)

1回目 出穂20日前 10kg/10a 2回目 出穂10日前 10kg/10a

○IB4号を施用する場合 4,280円/1袋(20kg)

出穂20日前 20kg/10a

※ナイスワンパワー等一発肥料を施用した方は、穂肥の必要はございません。

殺虫剤

○トレボン粉剤DL 3~4kg/10a 1,330円/1袋 (3kg)

時 期：収穫7日前まで

備 考：ウンカ類、イナゴ類、カメムシ類

殺虫殺菌剤 ※共同防除をやらない方に！

○ビームバシボン粉剤DL 3~4kg/10a 2,530円/1袋 (3kg)

時 期：収穫14日前まで

備 考：ウンカ類、イナゴ類、いもち病、紋枯れ病

※商品の価格は全て税込表示です。

問い合わせ：韮山営農経済センター 西島 055-949-0055

※JAふじ伊豆ホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。